

事業名 : みんなでごはん

団体名 : おむすびの会

1 事業内容

日時 6月～12月まで 11回開催(事業経過参照)

場所 ガンピー穀物倉庫、コープデイズ豊岡、日高文化体育館、公民館

内容 みんなで夜ごはんのおかずを作って持ち帰る。またはお昼ご飯をみんなで食べる。

【事業経過】

月 日	実施内容	場 所	参加人数
6月22日	みんなでごはん	ガンピー穀物倉庫	10人
6月23日	みんなでごはん(放課後)	コープデイズ豊岡	10人
7月21日	みんなでごはん(放課後)	コープデイズ豊岡	26人
7月28日	みんなでごはん(夏休み)	国分寺区公民館	27人
8月18日	みんなでごはん(夏休み)	コープデイズ豊岡	12人
8月21日	みんなであそぼ(夏休み)	日高文化体育館	23人
8月25日	みんなでごはん(夏休み)	コープデイズ豊岡	23人
11月17日	みんなでごはん(放課後)	コープデイズ豊岡	45人
11月26日	みんなでごはん(お父さん対象)	コープデイズ豊岡	8人
12月15日	みんなでごはん(放課後)	コープデイズ豊岡	16人
12月28日	みんなであそぼ(冬休み)	パーラーアキサミヨ	25人

2 事業の効果

(1) 団体(組織)内の効果

食べることを通した活動であったため、参加のハードルが下がり、新規参加者、継続参加者が増加した。また、活動しながら参加者同士が交流することにより、他の活動へ参加する新たな繋がりができたり、参加者が地域での活動を開始したりするきっかけとなる事業になった。

(2) 地域への波及

みんなで子育てする楽しさ、誰かに頼ることの心地よさを、子育て世代には広げることができた。また、農家さんを中心に、子育て世代を支援したい団体と繋がることができ、新たな別事業を展開することができた。大学生や高校生のボランティア参加はあったが、基本的には声をかけて参加してもらう形なので、まだまだ活動が浸透している段階ではない。

3 協働の相手方

農家の方に活動の協力をしてもらうことで、生産者との繋がりができ、地産地消を促すことができた。また、活動内容を知った農家さんが新たに協働者に加わり、お米の提供を受けることができた。コープデイズ豊岡さんは、場所の提供や他の事業についてもサポートしてくださる関係になった。

4 今後の課題等

(1) 団体（組織）活動を継続するための工夫等

どうしても参加者に子どもが多くなり、大人の手が足りていない。学生や子育てや仕事がひと段落した世代にも、事業紹介やボランティアの依頼をし、事業の主催できる人、ボランティア人数を増やす必要がある。また、提携する農家さんや事業者の方に事業説明して、幅広い支援を受けられるようにする。

(2) 地域活動を拡大していくための工夫等

多世代の参加を促せるよう、活動へ参加できる入口を広くする。例えば、食育や調理、栄養の専門職を招き、一緒にご飯づくりをすることで、興味のあるターゲット層を広げる。

子ども食堂など、食を通じた活動をしている地域団体と繋がり、情報共有して参加者の需要を掴んでいき、さらに地域のニーズに合った活動にしていく。



5年6月22日 出来上がりのおかず



5年8月18日 日中は遊んで夜ご飯



5年11月17日 みんなでご飯を食べる



5年12月28日 お店のスペースを借りてみんなで
お昼ごはん